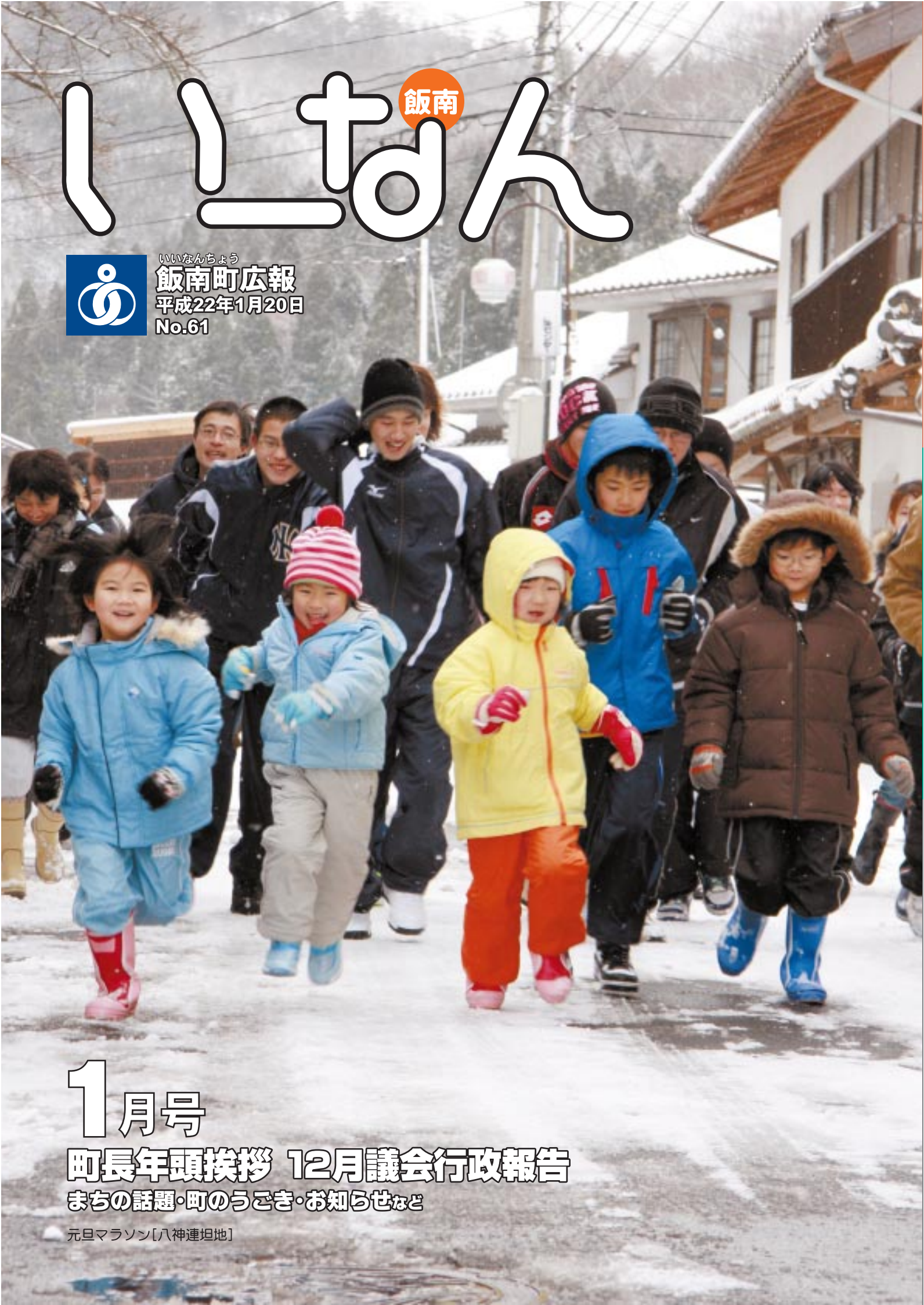
いいなん 飯南

いいなんちょう
飯南町広報
平成22年1月20日
No.61



1月号

町長年頭挨拶 12月議会行政報告

まちの話題・町のうごき・お知らせなど

元旦マラソン[八神連坦地]

賀春

年頭挨拶

飯南町長
山碕　英樹

新年明けましておめでとうございます。昨年中は、町政の推進各般に亘りまして、皆様方の温かいご理解とご協力を賜りましたこと厚くお礼申し上げます。

昨年は、米国発の金融危機が引き金となって「百年に一度」と言われる世界的な経済危機に陥り、景気の後退、消費の減少など本町においてもその影響は大きなものがあり、それは今なお続いているところです。また、1月の豪雪、7月の豪雨、そして夏場の異常気象と町民の皆様には何かとご苦労の多い年でした。

町政におきましては、私は町民の皆様の大変温かいご支援を賜り、引き続き町政を担当させていただくこととなりました。また、景山副町長、安部教育長に新たに就任をいただき、2期目のスタートを切ったところです。また、議会においては、定数を2名減ずる中で、町民の皆様の大きな期待を担って、新たな陣容による議会が構成され、活発な活動が開始されたところです。

そうした中、喫緊の重要課題である財政健全化につきましては、少しずつではありますが、改善を図ることができ、その効果を持って、町単独での子どもの医療費の助成制度の拡充など、町民の皆様の福祉の向上、充実を進めてきました。

また、JA雲南、農家の皆様の「売れる米作り」の推進により、新たに「飯南町産コシヒカリ」として静岡経済連との米の取引が始まるなど産業活性化に向けて色々な取り組みをいただき、成果もあげていただきました。

また、谷地区においては、交通手段の確保に地域住民自らが立ち上がり、全国でも注目される活動を開始され、地域での活発な地域づくりが進められています。

そして、飯南高校においては、報道部が昨年に続き全国大会に出場し、野球部は夏の大会初のベスト8という快挙を達成し、私ども町民を大いに力付けてくれました。

このように、本町を取り巻く環境は非常に厳しい中ではありましたが、町民の皆様のご尽力、ご支援をいただき、着実にまちづくりを前進することが出来た1年でした。

さて、本年は皆で創り上げた「総合振興計画」の前期計画5年間の最後の年となります。「いのち彩る里　飯南町」の実現に、5700人町民、みんなで力を合わせ進んでいきたいと思います。中でも、町民みんなが安心して暮らせる住みよいまちづくりを進めるためには、産業を元気なものにしていかなくてはなりません。

その産業の中心である農業について、国は新たな考えのもと、大きく舵を切ろうとしており、本町においては、これまで積み重ねてきた特色ある水田農業を基本に、的確に対応していかなくてはならないと考えます。

また、その農業の基本となる畜産については、本年も価格保障制度を継続し頭数の確保を行うとともに、来るべき全国和牛能力共進会への取り組みを進めていきたいと思います。

そして、引き続き、環境を切り口とした、また、本町の多様な地域資源を活かしての都市交流の推進など、農林商工が連携した産業振興を進めていきます。

昨年、医師不足の中で、本町の医療のあり方について、「検討委員会」を始め町民の皆様からご意見をいただきました。そのご意見をもとに、本年4月より新しい体制を整え、保健・医療・福祉、介護が一層連携して、町民の皆さんの健康づくり、安心の確保を進めていきます。

住民自らが主体となって集落活性化を進めるために、昨年6月より「地域づくりリーダー塾」を開講しました。各地域においては、受講生の皆さんをはじめ、地域住民の皆さんが一体となってさらに活発な地域づくり活動を進めていただくことを期待しています。

本年は5年に一度の国勢調査も実施されますが、少子高齢化が進む中で、若者の定住は大きな課題です。働きの場作りや多様な住宅の整備を進める一方で、生活のサポート体制を整えることは必要不可欠であり、各地域におかれましては、ともにUIターンの条件整備に取り組んでいただきたいと思います。

新政権は「地域主権」を大きく掲げ、その推進を図っていくこととしており、より、住民、議会、そして行政が一体となって自ら考え行動していくことが求められています。また、世界的に環境問題が大きく取り上げられる中、「生命地域　飯南町」のまちづくりに対して追い風も強まっていると感じています。

私は、本年もまちづくりの先頭に立って町政進展に全力を尽くしていきますので、町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

第10回 飯南町議会定例会行政報告 抜粋

12月8日から18日まで、「第10回飯南町議会定例会」が開催され、山碕町長が行政報告および提案理由の説明を行いました。今回は、飯南町子牛価格安定対策基金条例の制定など条例関係5件、平成21年度飯南町一般会計補正予算（第7号）など予算関係4件、その他一般案件として議決を要するもの15件を提出し、いずれも原案どおり可決しました。

行財政改革の推進

行財政改革については、平成17年度に「飯南町行政改革推進大綱」を定め、まちづくりの基本理念に基づいて、社会経済情勢の変化に対応し、簡素にして効率的な町政の実現をめざし、この間、数値目標を設定し集中して改革に取り組んできました。

先般、3期目となる行政改革推進委員会委員の皆様を委嘱させていただき、これまでの総括と平成22年度以降、向こう5年間の計画づくりをお願いし、引き続き行政改革の推進に努めていきます。

病院事業

本年度上半期の病院事業については、前年同期に比較して、外来患者数は前年並みの状況ですが、入院患者数では約12％の増加となっています。

医業収益については、当初の収益見込み額に対して、入院収益、外来収益いずれもこれを上回る状況となり、医業収支は、収支額で約3千万円の改善となりました。

入院患者数の増加により、病床稼働率も65・0％と前年度実績を上回っていますが、ガイドラインの指標である70％に満たない状況です。今後の動向を見ながら適正な病床数を検討する必要があると考えています。

飯南町産業活性化ビジョンの推進

4月から町産業活性化会議で協議を進めている、町統一のブランディング（町をイメージできるネーミング制定）作業は、一定の方向性が示されました。

また、本年度から特定プロジェクトとして取り組んでいるヤマトイモについては、昨年を5トン程度上回る17トンの収穫を見込んでいます。

来年度も、栽培指導、生産支援に努めながら、水田農業の奨励作物として、普及、推進を図っていきます。

定住対策

空き家住宅の改修工事を終え、6戸の住宅全て入居申し込みがありました。また、お試し暮らし体験住宅2戸につきましても整備を完了し、このうち1戸については、既に利用者があり、農業体験中であります。今後も必要な住宅の整備を図っていきたいと考えています。

地域力向上コミュニティ対策

人口減少、高齢化に伴う生活支援サービスのあり方について、社会実験を行うため、国土交通省のモデル事業を導入し、その効果を検証していきます。

先般20歳以上の全町民を対象にアンケート調査を実施したところ、多数の方にご協力いただきました。

この結果をもとに社会実験の内容を決め、サービスの提供、生業の確保並びに新しい雇用の創出等について、研究していく予定です。町民の皆様には引き続きご協力をお願いします。

滞納対策

町税については、10月末で督促状発付1、472件、催告状発付等420件、財産調査53件、差押え12件を実施し、徴収金額は72万円、動産類202点を搬出し保管をしています。

今後も悪質な滞納については、税負担の公平性を保つ上から動産等の差し押さえを含め、適正に対処していきます。

県民の森施設の一部財産取得

一昨年11月に島根県の行政改革推進会議において「公の施設及び外郭団体の見直しに関する提言」が示され、県民の森について、本町の森林セラピー基地と一体となって利用されてきた経過等から、今後一元的に管理した方が望ましい施設として見直しされることとなりました。

今後も「森林セラピー」を町のプロジェクト事業として推進していく上で、施設の一元的な管理運営ができれば、一層の有効活用が図られるものと考えています。

施設の取得並びに当分の間の管理運営経費については、島根県が負担し、本町の実質的な支出は伴わないことを基本に、財産取得を行うこととしました。

予算の主な内容

一般会計補正予算

太陽光発電事業（赤名小・来島小へ太陽光発電を整備）	4,800万円
学校情報通信技術環境整備事業（電子黒板を小中学校各校に2台設置）	1,500万円
全国瞬時警報システム整備事業（地震・気象警報などの情報を瞬時に提供するシステム整備）	700万円
子牛価格安定補填事業（子牛価格補填を3年間継続的に行うため、基金として積む）	1,000万円

特別会計補正予算

後期高齢者医療保険事業会計（H20年度島根県後期高齢者広域連合納付金の減）	▲300万円
病院事業会計（入院患者数の増加に伴う収入増）	3,840万円

琴引スキー場 町民無料ナイター

12.26(土)

ウインタースポーツの普及と子どもの体力向上、家庭のふれあいを目的として、飯南町教育委員会主催で、琴引スキー場のナイターを無料開放しました。

この日は、子ども連れや友達同士など約100人がゲレンデに集まり、スキーやスノーボードを楽しんでいました。

このイベントは今後も予定しています。町民の皆さん、是非ご利用ください。

ナイター無料開放デー今後の日程　2月12日（金）　2月27日（土）

岡輔吉大 レーシングキャンプ&スキーキャンプ

1.2(土)▶3(日)

琴引スキー場を会場に、1月2日レーシングキャンプ（スキー合宿）が、3日には、2級程度以上のスキーヤーを対象としたスキーキャンプが開催されました。

講師にはトリノオリンピックにも出場した吉岡大輔選手が招かれ、一流のスキー技術を教えました。レーシングキャンプでは8人のジュニアスキーヤーが参加し、吉岡選手は一人ひとりの滑りを見て、子どもたちに優しい口調で的確なアドバイスをしていました。

吉岡選手は今年で4年連続の来場となりました。国際大会経験者の滑りを肌で感じ、琴引から吉岡選手のようなオリンピック選手が誕生することを期待しています。

吉岡選手を囲んで

元旦マラソン

1.1(金)

頓原、志々両公民館で毎年恒例となっている元旦マラソンが開催され、多くの参加者が今年一年の走り初めを行いました。

第33回を数える頓原地区では60人の参加があり、由來八幡宮をスタートし、連坦地を往復、生涯学習センターをゴールとする約2㌔のコースを駆け抜けました。

今年で第17回目の志々地区では、50人の参加があり、参加者全員で志々乃村神社に参拝した後、川東地区を走る約1㌔のコースと川東、川西地区を走る約2㌔のコースの2つのコースを走りました。

大みそかからの降雪で、コース上に雪があり、走り辛いコンディションでしたが、子どもから大人まで全員が無事完走を果たしました。

志々乃村神社に参拝

連坦地を走る頓原地区参加者

寒波の中 凛々しく 消防出初式

1.10(日)

通常点検

松田団長

山碕町長

最後に万歳三唱

平成22年飯南町消防出初式を頓原地区を会場に行い、消防団員280人が出動しました。

始めに、頓原町民グラウンドで、任命、出動人員報告、通常点検を行った後、分団毎に隊列を組み、頓原連坦地を行進しました。

今回の出初式から消防団の活動服を更新し、沿道の住民が見守る中、真新しい活動服をまとった団員が元気はつらつと力強い行進をしていました。

その後、頓原ふれあいホール「みせん」に会場を移し、式典を行いました。山碕町長は「地域と一体となって防災体制の整備や万一の場合の初動体制の整備をすすめ、町民の皆様の安全と安心の確保に一層努めてまいります」とあいさつ。

松田団長は「操法技術を練磨し、万一の被害を最小限に留め、町民の皆様の安全と安心の確保に努めたいと思います。団員諸君の一層のご協力をお願いします」と訓示を述べました。

その後、感謝状の贈呈や各種表彰を行い、29人が受賞しました。

街頭行進

女性消防団員が入団

消防団活動において、災害時における要援護者などの災害弱者に対する適切な活動、住宅用火災警報器設置の推進など予防指導に対する活動など、これまで以上にきめ細やかな対応が求められていることや、消防団全体の活性化を図ることを目的に、12月1日付けで5名の女性団員を任命しました。

【活動内容】

○火災予防などの広報活動
○高齢者宅等の訪問による防火指導及び相談
○各種訓練、行事等への参加
○災害現場での後方支援

次の方が入団しました。（敬称略）
左より、小川恵美子（下赤名）・立脇峰子（角井）
熊谷かおり（頓原）・八嶋和恵（上赤名）
藤原由実子（都加賀）

随時団員を募集しています

入団希望の方は役場総務課（TEL76・2211）までお問い合せください。

新春 書初め大会

1.2(土)　1.5(火)

飯南町文化協会主催の書き初め大会が、1月2日にふれあいホール「みせん」、5日に来島基幹集落センターで開催されました。今年は、両会場あわせて約50人が参加しました。

この書き初め大会は、子どもから大人まで誰もが自由に参加できるイベントで、頓原地域では今年で15回を数えます。

参加者は、顧問の本間美智子さん（花要）から指導を受けながら、自分たちの書きたい文字を、真剣な表情で書き上げていました。

来島基幹集落センター会場

宝くじは広く社会に役立てられています

敷波神楽団が（財）自治総合センターから一般コミュニティ助成事業（助成金）を受け、活動に使用する衣装・備品とそれを収納する保管庫の整備を行いました。

この事業により、地域の活性化はもちろん古くから伝わる神楽の保存活動を今後も行うことができ、先人から受け継いだ伝統文化を後世にも伝え、これからの地域づくりに生かすことが期待されます。

この事業は、コミュニティの健全な発展を図るとともに宝くじの普及広報事業を行うものです。今後自治区単位で該当する事業がありましたら、政策推進課まちづくり推進室へご相談ください。

■お問い合せ
飯南町政策推進課
まちづくり推進室
TEL 76・2214

県民文化祭文芸短歌で入選

岡田繁富さん（頓原：敷波）

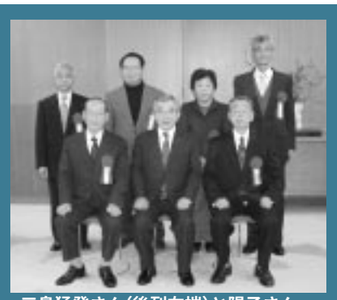
第7回島根県民文化祭文芸短歌部門で岡田繁富さん（頓原：敷波）の応募作品が応募総数530首中 第8席に入選し、12月13日島根県職員会館で表彰式が行われました。

天空に無限の威嚇する如く桂大樹は紅く芽吹けり
岡田繁富

岡田さんは「この作品は初めて桂大樹を見たときの自然の美しさを表現しました」と説明、今後は「飯南町をはじめ、各地の自然に触れ、今後も作品作りに励みたいです」と話していました。

島根あいてい達者表彰

三島猛登さん陽子さんご夫妻（上赤名）


三島猛登さん（後列右端）と陽子さん

県では、ITの活用に熱心に取り組まれている高齢者の方々を「島根あいてい達者」として表彰しています。

12月14日、県庁で表彰式が行われ、三島さんご夫婦が溝口知事から表彰状を受け取りました。

三島さんご夫婦は平成18年から地域のパソコンサークル等の講師を務め、年間50回のパソコン勉強会を開催されています。手作りのテキストを使ったわかりやすい指導により、パソコンの便利さ・楽しさを伝える活動に力を注いでいることから今回表彰となりました。

陽子さんは「わかるまでとことん勉強してもらっています。皆さんが喜んで勉強しに来られるのがうれしいです」と語っていました。

飯南町ふるさと応援寄附の状況報告

H21年度実績
寄付件数……38件
寄付金額……111万円

（内訳）
▼環境を守る森づくりに関する事業……55万5千円
▼将来を担う人材に関する事業……55万5千円
（平成21年12月31日現在）

飯南町ふるさと応援寄附制度が始まり1年半が経過しました。

昨年秋には環境を守る森づくりに関する事業への寄附金を活用し、志津見地区へ植樹を実施しました。また、将来を担う人材に関する事業の寄附金を活用し、小中学校の図書を購入しました。

寄附をいただいた多くの方々の、温かい気持ちとふるさとへの想いに感謝します。

今後とも制度に対するご理解とご協力をお願いします。

飯南町生きがい村構想準備委員会発足

飯南町では、保健、医療、福祉・介護の連携を強化して、本年4月から新たな体制構築を図るため、「飯南町生きがい村構想」準備委員会を12月1日に立ち上げました。

この準備委員会で、総合的な連携のあり方や各種サービスの適切な実現のための調査、検討を行うこととしています。

準備委員会の会長には、安田来島診療所長が、副会長に景山副町長が就任し、さまざまな方面からの研究が進められます。

公の施設の指定管理者が決定しました

平成22年3月末をもって指定管理が期間満了となる施設について、新たに指定管理者の選定を行いました。

憩いの郷衣掛については、公募をしたところ、4つの企業、団体から応募があり、経営面や町内他施設との連携などを考慮し選定しました。

指定管理者は次のとおりです。

施設名	指定管理者	指定管理終期
憩いの郷衣掛	株式会社飯南トータルサポート	H25.3.31
飯南町総合交流ターミナル	株式会社フロンティアあかぎ	H25.3.31
赤名観光体験農園	株式会社SBN	H25.3.31
赤名観光ぼたん園	株式会社SBN	H25.3.31
酒づくり交流館	赤名酒造合名会社	H25.3.31
下来島多目的集会施設	来島郷の会	H25.3.31
飯南町健康増進施設	来島郷の会	H25.3.31
赤名ふれあい公園施設	赤名自治振興協議会	H24.3.31
飯南町農産物加工所	株式会社フロンティアあかぎ	H25.3.31
飯南町堆肥センター	雲南農業協同組合	H25.3.31

※上記の全ての施設について指定管理始期はH22.4.1となります。

森林セラピーのコーナー 第2回

森林セラピー発祥の地はドイツ クナイプ療法

森林セラピーの発祥の地は、ドイツのバートウェーリスホーフェン市です。この方法は、120年以上前にカトリック司祭のセバスチャン・クナイプにより提唱されました。クナイプは、青年時代に結核にかかりましたが、冷水浴を中心にした水療法によって完治した経験から自然療法を考案したといわれています。

クナイプが提唱したクナイプ療法は、温冷水浴を使った「水療法」、森林散策などの「運動療法」、栄養バランスの取れた食事を取る「食物療法」、アロマテラピーの要素をいれた「植物療法」、心身や身体内外の自然との調和を図る「調和療法」の5つの療法でココロとカラダの健康増進を図ります。

飯南町森林セラピーでは、これに習い、森林セラピーガイドと歩く運動療法と町内の高原野菜や山菜を使った薬膳・山菜料理を取る食物療法、温泉を使った水療法など飯南町の自然を活かしたメニューを提案しています。飯南町の自然を身体中感じる森林セラピーを体験してはいかがですか。

飯南町を連想できるネーミングを

町では、将来の産業を活力あるものにしていこうと、昨年度に、「産業活性化ビジョン」（産業活性化構想）を策定しました。このビジョン（構想）は、飯南町総合振興計画に掲げる産業分野に特化し、地域の資源を活かした農林業・商工業などを、全ての産業と連携・複合させることでの「里山産業」創造を目的として策定しました。このビジョンに基づいて初年となる本年度は、地域の特色を活かした「地域ブランド戦略」を進めています。

この「地域ブランド戦略」とは、その地域にある自然・歴史・文化・伝統技術・食・地域産品などといった数多くの魅力的な資源を活用し、本町にしかない特産品や新サービスをつくることで、地域から人（交流）・もの（物流）・お金（外貨獲得）を呼び込んで地域の活性化を図る取り組みです。

第一段として、魅力的な地域を連想できる「ネーミング」を定め、まちのPRや産物のPRに活用し、付加価値を付けた産物の販売とイメージの定着化を図ります。そのネーミングを選定するため、山口県下関市の「下関ブランド」、吉賀町の第三セクター「エポックかきのきむら」が広島県廿日市に構える産直市「かきのき村」へ伺い勉強してきました。

これら自治体の事例・手法を参考にしながら、飯南町産業活性化会議の中でいくつか候補案を選定し、アンケート調査を行います。アンケートのご意見等をまとめた上、ネーミングを決定します。

産業施策は今年度スタートを切ったばかりです。産業の活性化は一夜にしてなるものではありませんが、ビジョンに掲げる「選択と集中」により、雇用の拡大・定住を推進していきます。皆さんからのご意見をよろしくお願いします。

地域ブランド化の事例

1.地域独自のイメージや固有の気候を活用している

① 京の伝統野菜（京都府）

② 小豆島のオリーブ茶（香川県）

③ 蒜山高原もこのパターン～飯南高原も？

地域独自の歴史、物語性等の地域イメージや地域固有の気候条件等を活用することが必要

2.失敗している事例が抱えている問題点

① 品質の管理が不十分で、他の産品と差別化できるまでに至っていない。

② 自分たちが目指すブランドのイメージやターゲットとしたい顧客が明確でないまま、漫然と販売活動を行っている。

③ 車に新しい名称やイメージキャラクターを付けただけで、だれを対象に、どのような品質のものを、誰にどのように販売するのか、といったブランド・コンセプトを考えていない。

④ 新しい品種を導入し、販売を始めたものの、その生産体制の整備が追いついていない。

農林水産省：農林水産物・地域食品における地域ブランド化の先進的取組事例集より抜粋加工

俳句短歌

琴峯華俳句会（年末雑詠）

会員作品抄

＊冬晴れや鳶大きく弧を画く　石田シヅカ
＊ダム静か生途の橋に霧流る　奥野　王青
＊ストーブが燃へて泣き言終りとす　垣内　良野
＊スキー場オープン広告賑賑と　片山　素文
＊十二月背中押す風強くなり　佐々木庸子
＊ねずみの足ほどの蓬や冬日和　庄司あさの
＊兎に日角終れば暮しと此の一年　那須ひろし
＊生け花の芯に座りし実南天　林　勝子
＊冬囲ひ終へて酌み交ふ夕餉の座　原　コウ
＊小春日や通はぬ言葉目で語る　張戸ユキ女
＊歳末や売り出しの娘の半被かな　政本　進美
＊葉牡丹を小鉢に植へて年用意　森　征子
御隠居の決り文句やちゃんちゃんこ　垣内　峯雅

赤名短歌会

十二月例会詠草

＊花もみじ散り敷く径はひたぶるの一期なる径くれなゐの径　岩佐　恒子
＊ためらふが如く静かに翁ひ降りし白鳥の見ゆ斐伊川中洲　安部　教子
＊雨上がり霞かかりたる遠き山絵心あれば一筆にかきたし　三島　久恵
＊冬日さす広場をボニーは従順に代わるがわるの人乗せて歩む　石田フクエ
＊酒飲めぬ我に笑顔をこぼしつつワインを小脇に婿殿が来る　本間　麗子
＊病院の先生を尋ねて廊下を行く無事なる我をたしかめにつつ　佐々木りく子
＊入院ばひと月あまりと友の云う我は指折り過ぎる日を待ちつ　難波　幾子
＊野も山も皆枯色になりたし吾が残生と同じ色なり　日高美代子
＊小春日の一日一日がいとおしい落葉のおどる赤名の晩秋　門所　詠子
＊何処より吹かれて来しや落葉松の小枝撓たふ有陽の庭に　澤田久美子
＊十分で仕上げた化粧にマスクを当て「よし」とひと声師走の朝へ　星野　敦子
＊鳩山政権無策で漂流われもまたどうする我家どうなる日本　澤田　勝登
＊惚と惚融通無碍や卒寿なり古文書講師は元衛生兵なる　源　光子
＊この里に嫁ぎて五十八年恙無し八十路の坂は何時までのこと　貝森フミヱ
＊金沢や時雨そぼ降る街通り娘と傘差す師走の灯　清原　豊明
＊「会いたかった」と肩を抱き合いふるう声バイクの君は九十五歳　中村三四二

保健・医療・福祉のページ

いのち 彩る（いろど） 生活（くらし）㊻

禁煙のススメ

現在、日本では未成年者や女性の喫煙率が非常に上がり、大きな問題となっています。逆に男性の喫煙率は下がっていることもあり、女性をターゲットにした商品や広告も増えています。今月は、タバコの影響について紹介します。

タバコは悪い悪いと言われるけども、何が悪いのかご存知ですか？実はタバコに含まれるさまざまな化学物質のうち、一番影響があるのがニコチンです。ニコチンは血液中に入ってすばやく全身にまわります。

神経に働く毒で、興奮させたり逆に落ち着かせる作用もあります。それで気分転換ができるのです。そのうち体が慣れて数を増やさないと効かなくなったり、ストレスが高い時に気持ちを落ち着かせようとして本数が増えたり、吸わないとイライラするといった依存症状が出てきます。

タバコを吸うと気がまぎれたり食欲が落ちることから、女性ではダイエットに使うという人がいます。しかしダイエット薬代わりにするには他のリスクが大きすぎます。たしかに禁煙すると食欲が増すため2～3キロ太ることはあります。しかし、それで喫煙を再開しても今度は痩せないのです。

また、美容の大敵であるビタミンCの破壊が大問題といえます。タバコ2本で1日の必要量のビタミンCが無くなる計算です。シミや風邪を治そうとサプリメントを飲んでも無意味になり、コラーゲン生成に支障が起きて肌のトラブルの原因となります。そのうえ毛細血管が収縮すると肌の血行が悪くなる→細胞の再生力が落ちる→メラニンなど不要なものの除去が遅れる→早く老け込む、という悪循環になります。

このように、タバコには大きなリスクが伴います。自分自身の健康を守る術の一つとして禁煙を心がけましょう。

お問い合せ　飯南病院 TEL72-0221　来島診療所 TEL76-2309　保健福祉課 TEL72-1770

こんにちは中山間地域研究センターです

かんな流し講演会開催

木原　明さん

「かんな流し」という言葉をご存知でしょうか？

昔、中国地方で広く行われた「たたら製鉄」に必要な砂鉄を採取するため、山の土砂を大量の水で下流に流し、比重の違う砂鉄だけを採取する独特な方法のことです。

飯南町には「かんな流し」によってできた地形が多くあり、特に野萱地区には今でも「かんな流し」の遺構がたくさん残っています。

センターでは、「かんな流し」について町民の皆さんにもっと知っていただくため、平成20年11月に「かんな流し講演会&ウォーキング」を開催しました。

それに続き、昨年12月には野萱自治区振興会が「かんな流し講演会」を開催されました。

当日は来島小学校3年生の児童の皆さんが「来島のたからもの」と題して、野萱周辺の地形、奥出雲のたたらと刀剣館や菅谷たたら等を調査、見学してきた成果を発表されました。また、奥出雲町の日刀保たたらの村下（むらげ）、木原明さんをお迎えして「たたら製鉄とかんな流し」についての講演がありました。たたら製鉄でしか作れない玉鋼の説明など、大変興味深いお話をされました。

野萱自治区振興会の皆さんは、これからも、この地元の貴重な歴史について町民の皆さんの理解を深めていただくために取り組みを続けていかれるそうです。皆さんも地元の歴史について学んでみませんか。

野萱自治区振興会の皆さんと来島小学校児童の皆さん

所得税確定申告が始まります

税務署から確定申告書類の送付を受けている方は、説明書をよく読み、収入・支出の資料・証明書・帳簿等をあらかじめ集計しておいてください。

★確定申告書は申告会場で印字しますので、記入しないでお越しください。

★年金や給与だけの方も、源泉徴収された所得税の還付が発生する場合があります。

★年末調整されていない所得が20万円以下の方は、確定申告する必要はありません。

■**申告に必要なもの**

印鑑・給与所得の源泉徴収票・公的年金等支払報告書・生命保険料の支払証明書・地震保険料の支払証明書・医療費支払証明書・国民年金保険料支払証明書または領収書・還付申告の方は還付先口座番号

※農業所得のある方は、JA購買品の確定申告用仕訳書等により、整理をしてからお越しください。

■**会場は非常に混み合います**

ご自分で作成できる方は国税庁や広島国税局のホームページ等を利用し、電子申告等で申告されることをお勧めします。

また、大東・三次・出雲などの税務署をはじめ、三次合同庁舎では広島国税局が直接申告指導を行っていますので、ご利用ください。

■**お問い合わせ先**

住民課 税務担当

TEL７６・２２１３

平成21年分申告相談日程表

受付時間 (午前) 9:00～12:00 (午後)13:00～16:00

相談日	午　前	午　後	会　場
2月16日(火)	角井	志津見	さつき会館
2月17日(水)	川東	獅子	
2月18日(木)	川西		
2月19日(金)	佐見(大年・伸和・程原)	長谷	ふれあいホール「みせん」
2月22日(月)	佐見(上組) 寺沢	都加賀(殿居・国倉)	
2月23日(火)	敷波(古城・稲荷・田鍬)	都加賀(隠岐原) 敷波(琴引)	
2月24日(水)	花栗	町区(一番町・社日町・大仙町・上町・中町)	
2月25日(木)	奥畑	町区(本町・横町・新道町・万対町・恵比須町・寺町)	
2月26日(金)	上区		
3月 1日(月)	下来島 (松本西部・川尻)	下来島 (保賀・松本中部)	来島 基幹集落センター
3月 2日(火)	野萱(琴麓)	野萱(塚原・三日市・野萱団地)	
3月 3日(水)	野萱(野萱・下三日市)	真木(口真木)	
3月 4日(木)	真木(奥真木)	小田(口小田)	
3月 5日(金)	小田(奥小田・中小田)	上来島(杉戸・横路)	
3月 8日(月)	上来島(上来島・安江)		
3月 9日(火)	谷(塩谷・畑田)	谷(井戸谷)	赤名農村環境改善センター
3月10日(水)	下赤名(東区)	下赤名(千束・中通)	
3月11日(木)	下赤名(石次・福田)	上赤名(北野)	
3月12日(金)	上赤名(中区)	赤名(上市・中市)	
3月15日(月)	上赤名(向谷・瀬戸)	赤名(下市・衣掛団地)	

平成21年度 東部地区自治体

共同公売開催

島根県と東部地区の市町村が、県税・市町村税等の滞納者から差押えた財産を、同じ会場内で同時に入札方式により売却する公売会を開催します。

今回は、飯南町の他、島根県、出雲市、雲南市が実施します。

◆**開催(入札)日時**

平成22年2月7日(日)　10時～14時

◆**開催(入札)場所**

出雲市役所　本庁1階
くにびき大ホール

・落札者の決定　同日　14時45分
・代金の支払期限　同日　15時30分

◆**入札に必要なもの**

・運転免許証などの本人確認ができるもの
・印鑑

◆**公売物件**

・美術品(陶器・絵画等)多数

※詳しくは飯南町ホームページをご覧ください。
http://www.iinan.jp/

□**お問い合せ**

飯南町住民課税務担当
TEL７６・２２１３

出雲の國・斐伊川サミット共同事業

第2回 出雲の國伝統芸能交流大会を開催します!!

斐伊川流域の出雲市・雲南市・斐川町・奥出雲町・飯南町は、ともに圏域の発展を目指すことを目的に「出雲の國・斐伊川サミット」として、昨年度から共同事業を実施しています。

この事業の一環として、圏域の伝統芸能10団体が一堂に集まり、共演を行う「第２回出雲の國伝統芸能交流大会」を開催します。

ぜひこの機会に、斐伊川流域で引き継がれてきた伝統芸能をご堪能ください。

■**日　時**　平成22年２月28日(日)　開場:９時30分～　開会:10時～

■**場　所**　雲南市加茂町文化ホール　ラメール(雲南市加茂町宇治303)

■**入場料**　前売券　５００円(高校生以上)
当日券　６００円(高校生以上)

※中学生以下無料。
前売券は飯南町役場政策推進課まちづくり推進室で販売しています。

■**出　演**

【出雲市】大津三谷神社獅子舞保存会
【奥出雲町】奥出雲神代神楽社中
【飯南町】飯南神楽同好会
【斐川町】土手町神楽保存会
【雲南市】出雲國大原神主神楽保存会・山王寺和野神社社中・佐世神楽社中
南加茂貴船神楽社中・深野神楽保存会・上多根神楽保存会

■**お問い合わせ**　飯南町役場　政策推進課まちづくり推進室　TEL７６・２２１４

農林業センサス調査にご協力ください!

農家、農業生産法人、集落営農組織などを対象に農林業に関する統計調査が実施されます。

調査員が訪問して聞き取り、調査票の配布・回収を行いますので、ご協力をお願いします。

■**調査期日**:平成22年２月１日

■**お問い合わせ**
飯南町総務課行革情報担当
TEL７６・２２１１

雲南警察署からのお知らせ

冬期のスリップ事故防止

積雪、凍結道路ではスリップ事故を原因とする交通事故が多発します。

スリップ事故の原因として

❶ 少しのスリップで驚いてブレーキを強く踏む。
❷ スピードをだしたままカーブに進入し、カーブの途中でブレーキを踏む。
❸ カーブ等で、ハンドルを不用意に切る。
❹ スピードを落とすため、不用意にギアチェンジする。

など、様々なものがあります。

冬期はスピードをゆっくり落とし「ゆっくり・やさしい」運転をしましょう。

ブレーキ、ハンドル、アクセルなどの「急」な操作はスリップの原因となります。

すこやかに 12月届出分

新生児

届出人	地区
片地 穂都美(ほづみ)ちゃん	悟(下赤名)

やすらかに 12月届出分

お名前	親族	地区
嶋 晃造様	(90)	清司(赤名)
政本 富士江様	(92)	節(上来島)
永妻 正之様	(90)	栗麿子(赤名)
前島 隆信様	(70)	良司(塩谷)
名原 秀吉様	(95)	逸二(赤名)
渡邉 春江様	(94)	民雄(野萱)
信藤 求様	(72)	豊(頓原町区)
安井 一夫様	(79)	誠(佐見)
那須 頼惠様	(88)	久三(頓原奥畑)

今月の表紙

1月1日に志々地区恒例の元旦マラソンが八神連坦地周辺で行われました。

表紙の写真は、志々乃村神社前を、スタートの合図に勢い良く走り出す参加者の様子です。

当日は50人の参加があり、約20㎝の積雪の中、長靴姿で走っていました。

次々とゴールする参加者の皆さんは新年の幕開けにふさわしい気持ちのよい笑顔でゴールしていました。

走り終えた皆さんには、さつき会館で抽選会があり、今年一番の運試しとなりました。

まちのスケジュール

2010 平成22年 2月

日	月	火	水	木	金	土
1/31	1 ❀ スマイルりんご（来島保健センター）	2 ❑ 来島小スキー教室 ✻ 全国高校スキー大会（北海道 ～7日）	3 ❑ 保育所豆まき ❑ 飯南高校福祉体験学習（～4日） ❑ 赤来中スキー教室（琴引スキー場） ❀ 軽体操（保健福祉センター）	4 ❑ 頓原小エネルギー教育発表会	5 ❑ 保育所地域開放日・入所説明会	6 ❑ 頓原中授業公開・新入生説明会 ❑ 頓原小親子の集い ✻ 子ども活動（来公：来島基幹集落センター）
7 ✻ かまくら作り（県民の森）	8	9 ❖ 行政相談（憩いの郷 衣掛）	10 ❑ 来島保育所保育公開日 ❑ 赤名保育所保育公開日 ❑ 頓原小1日入学	11 建国記念の日 ✻ 雪山講座（県民の森） ✻ 全国高校選抜スキー大会クロカン（岐阜 ～13日）	12 ❑ 志々小1日入学 ❖ ナイター無料開放日（琴引スキー場）	13 ❑ 赤来中授業公開・新入生説明会 ❑ さつき保育所保育公開日
14 ✻ とんばら探検隊（頓公：生涯学習センター）	15 ❀ スマイルりんご（来島保健センター） ✻ 中国中学校スキー大会（琴引スキー場～17日）	16 ❑ 赤名小1日入学	17 ❀ 子育て世代食講座（来島保健センター） ❀ 軽体操（来島基幹集落センター）	18 ❑ 来島小1日入学 ❑ 志々小授業公開・学校保健講演会	19 ❑ 頓中・頓小・志小合同ノーメディア運動（～25日）	20 ❑ 桜ヶ台保育所保育公開日 ✻ わらべの学校（志公：さつき会館）
21 ❑ 来島小授業公開・人権同和教育講演会	22	23	24 ❑ 赤名小授業公開	25 ❀ 乳児・1歳6ヶ月児健診（保健福祉センター） ✻ 国民体育大会スキー競技（北海道 ～28日）	26	27 ✻ 飯南町スキー大会（琴引スキー場） ❖ 新ちゃんのお笑い人権高座（やまなみ）
28	3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6

❑ 教育　❀ 健康・保健　✻ 文化・体育　❖ その他

町の人口5,681人（前月比-4人）　世帯数2,133戸　H22.1.1 現在　男性2,702人　女性2,979人

決められた日時をお守りください

し尿汲取り日

頓原地域 ▲72-1401
赤来地域 ▲76-2441

汲取り地区	汲取り日
頓原	7日 9日 27日
志々	12日 14日
赤名	2日 4日 24日
来島	17日 19日

※汲取り日が日曜日の場合は前後の日となります。

資源物

収集地域	収集日
頓原	17日（水）
赤来	24日（水）

収集地区	金属類・粗大物 収集日	ガラス類 収集日
頓原連担地	22日（月）	8日（月）
八神連担地	24日（水）	10日（水）
志々・頓原の連担地以外	23日（火）	9日（火）
赤名連担地	15日（月）	1日（月）
来島連担地	17日（水）	3日（水）
赤名・来島の連担地以外	16日（火）	2日（火）